

平成28年5月治験審査委員会議事要旨

日時：平成28年5月16日（月）17:20～18:00

場所：独立行政法人国立病院機構 旭川医療センター 大研修室

出席者：藤兼俊明副院長、木村隆統括診療部長、藤内智臨床研究部長、岡田令事務部長、
清野しのぶ看護部長、後藤慶一企画課長、後藤達也薬剤部長、橋本一彦外部委員、小島治士外部委員

委員長：藤兼俊明副院長

治験管理室：三上、野田

課題1 「MSD株式会社の依頼によるMK-1029の第II相試験」

依頼者 MSD株式会社

【審議事項】

- ・新規の治験受託に伴い、治験責任医師より治験内容説明、質疑応答がなされた。
- ・治験依頼書（2016年4月21日）治験実施の妥当性について審議した。

審議結果：承認（藤兼副院長、藤内臨床研究部長を除く全員）

課題2 「ONO-2370 第II相試験 パーキンソン病患者に対する多施設共同プラセボ対照無作為化二重盲検並行群間比較試験、及び非盲検非対照長期継続投与試験」

依頼者 小野薬品工業株式会社

【審議事項】

- ・新規の治験受託に伴い、治験責任医師より治験内容説明、質疑応答がなされた。
- ・治験依頼書（2016年4月20日）治験実施の妥当性について審議した。

審議結果：承認（木村統括診療部長を除く全員）

課題3 「中外製薬株式会社の依頼による肺癌患者を対象としたMPDL3280Aの第III相試験」

依頼者 中外製薬株式会社

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2016年4月21日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認（藤兼副院長、藤内臨床研究部長を除く全員）

課題4 「メトトレキサート（MTX）の使用経験のない中等症から重症の活動性関節リウマチ患者におけるABT-494の1日1回投与による単独療法とMTX単独療法との第III相無作為化二重盲検比較試験」

依頼者 アッヴィ合同会社

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2016年4月5日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

課題5 「既存の合成DMARD（csDMARD）を一定用量で投与中かつcsDMARD治療で効果不十分な中等症から重症の日本人活動性関節リウマチ患者におけるABT-494とプラセボとの第IIb/III相無作為化二重盲検比較試験」

依頼者 アッヴィ合同会社

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2016年4月4日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

課題6 「Meiji Seika ファルマ株式会社の依頼によるパーキンソン病患者を対象としたME2125の第Ⅲ相試験」
依頼者 Meiji Seika ファルマ株式会社

【審議事項】

- ・ 治験に関する変更申請書（2016年4月8日）について審議した。
審議結果：承認（木村統括診療部長を除く全員）

課題7 「Meiji Seika ファルマ株式会社の依頼によるパーキンソン病患者を対象としたME2125の第Ⅱ/Ⅲ相試験」
依頼者 Meiji Seika ファルマ株式会社

【審議事項】

- ・ 治験に関する変更申請書（2016年4月8日）について審議した。
審議結果：承認（木村統括診療部長を除く全員）

課題8 「Pearl Therapeutics, Inc.によるCOPDを対象とした第Ⅲ相試験」
依頼者 Pearl Therapeutics株式会社

【審議事項】

- ・ 安全性情報等に関する報告書（2016年3月28日）（2016年4月13日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認（藤兼副院長、藤内臨床研究部長を除く全員）

課題9 「日本イーライリリー株式会社の依頼による第Ⅰb/第Ⅲ相試験」
依頼者 日本イーライリリー株式会社

【審議事項】

- ・ 安全性情報等に関する報告書（2016年4月7日）（2016年4月21日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認（藤兼副院長、藤内臨床研究部長を除く全員）

課題10 「持続型喘息の患者を対象としたdupilumabの第Ⅲ相試験」
依頼者 サノフィ株式会社

【審議事項】

- ・ 安全性情報等に関する報告書（2016年4月5日）（2016年4月21日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・ 治験実施状況報告書（2016年4月12日）安全性、GCP遵守状況、その他について報告した。
審議結果：承認（藤兼副院長、藤内臨床研究部長を除く全員）

課題11 「パーキンソニズムを伴うレビー小体型認知症患者を対象としたAD-810Nの検証的試験〔第3相試験〕」
依頼者 大日本住友製薬株式会社

【審議事項】

- ・ 安全性情報等に関する報告書（2016年4月21日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認（木村統括診療部長を除く全員）

課題12 「L-DOPA併用パーキンソン病患者を対象としたHP-3000の第Ⅲ相並行群間比較試験」
依頼者 久光製薬株式会社

【審議事項】

- ・ 治験実施状況報告書（2016年4月22日）安全性、GCP遵守状況、その他について報告した。
審議結果：承認（木村統括診療部長を除く全員）

課題13 「日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼によるCOPD患者を対象としたチオトロピウム+オロダテロールのCOPD増悪に対する効果を評価する第Ⅲ相試験」
依頼者 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

【審議事項】

- ・ 安全性情報等に関する報告書（2016年3月30日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・ 治験に関する変更申請書（2016年4月4日）について審議した。
- ・ 重篤な有害事象に関する報告書（2016年3月28日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認（藤兼副院長、藤内臨床研究部長を除く全員）

議題14 「日本イーライリリー株式会社の依頼による非小細胞肺癌患者を対象とした第Ⅲ相試験」

依頼者 日本イーライリリー株式会社

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2016年4月8日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認（藤兼副院長、藤内臨床研究部長を除く全員）

議題15 「アッヴィ合同会社の依頼によるパーキンソン病患者を対象とした、ABT-SLV187の長期継続投与試験」

依頼者 アッヴィ合同会社

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2016年4月4日）（2016年4月18日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・治験に関する変更申請書（2016年4月26日）について審議した。
審議結果：承認（木村統括診療部長を除く全員）

議題16 「日本イーライリリー株式会社の依頼による第Ⅰb/Ⅱ相試験」

依頼者 日本イーライリリー株式会社

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2016年3月31日）（2016年4月14日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・治験実施状況報告書（2016年4月19日）安全性、GCP遵守状況、その他について報告した。
審議結果：承認（藤兼副院長、藤内臨床研究部長を除く全員）

議題17 「ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による二次性進行型多発性硬化症患者を対象としたBAF312の第Ⅲ相試験」

依頼者 ノバルティス ファーマ株式会社

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2016年4月6日）（2016年4月20日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・治験実施状況報告書（2016年4月21日）安全性、GCP遵守状況、その他について報告した。
審議結果：承認（木村統括診療部長を除く全員）

議題18 「バイオジェン・ジャパン株式会社の依頼による再発寛解型多発性硬化症を対象とした第Ⅲ相試験」

依頼者 バイオジェン・ジャパン株式会社

【審議事項】

- ・治験に関する変更申請書（2016年4月20日）について審議した。
審議結果：承認（木村統括診療部長を除く全員）

議題19 「クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社（治験国内管理人）の依頼による非小細胞肺癌患者を対象としたPF-00299804の第Ⅲ相試験」

依頼者 クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2016年4月25日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認（藤兼副院長、藤内臨床研究部長を除く全員）

議題20 「関節リウマチ患者を対象としたBaricitinibの長期安全性及び有効性を検討する多施設共同第Ⅲ相試験」

依頼者 日本イーライリリー株式会社

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2016年3月30日）（2016年4月13日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認

議題 2 1 「吸入ステロイド薬及びその他の長期管理薬を使用しているにもかかわらずコントロール不十分な喘息患者を対象としたLebrikizumabの有効性及び安全性を検討する第Ⅲ相ランダム割付二重盲検プラセボ対照比較試験」

依頼者 中外製薬株式会社

【審議事項】

・安全性情報等に関する報告書(2016年3月29日)(2016年4月13日)に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認（藤兼副院長、藤内臨床研究部長、後藤薬剤部長を除く全員）